

全国障害者リハビリテーション研究集会 2022

特別講演（大会2日目10:00～10:40）

厚生労働科学研究報告

「自立訓練における社会リハビリテーションプログラム

とその評価手法について」

研究代表者 菊地尚久

令和2年度から3年度にかけて全国自立訓練事業所協会に協力団体として、また全国の自立訓練事業所の皆さんにもご協力頂き、一定の成果が出すことができ、標準的プログラムを検証すると共に新たな評価指標として社会生活の自立度評価指標 SIM (Social Independence Measure) を開発し、令和4年度障害者総合福祉推進事業指定課題 24「自立訓練事業における標準的な支援プログラム及び評価指標の活用についての調査研究」に引き継がれ調査検討が行われております。

今回は令和4年3月18日に行われた報告会の内容に加え、最終報告として皆様にお伝えさせていただきます。

	項目	必須	点数	
			利用時	終了前
毎日の社会生活を維持するための項目	1. 健康管理	必須		
	2. 金銭管理	必須		
	3. 身の回りの管理	必須		
	4. 買い物（買い物先までの移動を除く）	必須		
	5. 家事活動（調理含まず）	選択		
	6. 調理	選択		
	7. 生活のセルフマネジメント	必須		
社会の一員として積極的に参加するための項目	8. (1) 公共交通機関を利用した外出	1つを選択		
	(2) 自動車運転			
	9. 人間関係	必須		
	10. 仕事/学校	選択		
	11. 地域での余暇活動	必須		
項目共通	12. 日中活動	必須		
	13. 制度・サービス活用	必須		
合計合計 (10~91)				

（除外項目（選択しなかった項目）がある場合の採点方法）

利用時と利用終了時の利得の合計と比較した場合に、13項目中該当しない項目があることで不利とならないために、合計点に以下の数値を乗じる。

○12項目の場合：合計値×1.084

○11項目の場合：合計値×1.182

○10項目の場合：合計値×1.3